

退職教員プロフィール

鈴木 晶夫
(SUZUKI Masao)
教授



〈学歴〉

- 1975年3月 早稲田大学第一文学部哲学科心理学専修卒業
- 1986年3月 早稲田大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得退学
- 2003年1月 早稲田大学大学院人間科学研究科 博士（人間科学）早稲田大学

〈職歴〉

- 1983年4月－1986年3月 早稲田大学第一・第二文学部助手
- 1985年4月－1988年3月 工学院大学非常勤講師（心理学担当）
- 1986年4月－1987年3月 立正大学教養部非常勤講師（心理学担当）
- 1987年4月－1991年3月 早稲田大学人間科学部専任講師
- 1991年4月－1997年3月 早稲田大学人間科学部助教授
- 1993年7月－1997年8月 人事院国家公務員採用I種試験（心理）試験専門委員
- 1997年4月－2020年3月 早稲田大学人間科学部教授
- 2005年－2011年8月 人事院国家公務員採用I種試験（人間科学I）試験専門委員
- 2005年－2015年8月 人事院法務教官採用試験専門委員
- 2007年－2009年3月 放送大学大学院環境システム科学群客員教授
- 2011年－2015年8月 人事院国家公務員採用総合職試験（人間科学）試験専門委員

〈研究経歴〉

- 1991年4月－1992年3月 Visiting Scholar at University of California, Riverside

〈所属学会〉

- 日本心理学会 監事（2005-2009）
- 日本感情心理学会 常任理事（2002年－2010年5月）
- 日本健康心理学会 理事（1995－2004） 監事（2012－2016）
- 日本行動科学学会 運営委員（1980－1983, 2003－2012）
- 日本教育心理学会, 日本顔学会, 日本発達心理学会, 早稲田心理学会 監事
学会連合資格「臨床発達心理士」運営認定機構 常任理事（2001－2010年）

〈その他（受賞学術賞 等）〉

- 日本健康心理学会2008年度本明記念賞（伊東暁子・竹内美香・鈴木晶夫 幼少期の食事経験が青年期の食習慣および親子関係に及ぼす影響 健康心理学研究,2008,20, 21-31）

〈主要研究業績〉

〈著書〉

- イメージの基礎心理学 (分担執筆). 誠信書房 (1983)
オペラント行動の基礎と臨床 (分担執筆). 川島書店 (1985)
社会心理学重要研究集3 (分担執筆). 誠信書房 (1987)
ノンバーバル行動の実験的研究 (分担執筆). 川島書店 (1993)
子別れの心理学 (編著). 福村出版 (1995)
Comparative and Psychological study on Meditation. (eds.) Eburon. (1996)
心理学入門 快体心書 (共著). 川島書店 (2005)
心理学教育再考 (編著). 川島書店 (2007)
食べる・育てる心理学 食育の基礎と臨床 (共著). 川島書店 (2010)
The Oxford Handbook of Health Psychology (分担執筆). Oxford University Press (2011)

〈研究論文〉

- 鈴木晶夫 (1983) 表情認知の基礎的研究 早稲田心理学年報 創立100周年記念特別号, 49-56.
鈴木晶夫 (1986) 姿勢に関する基礎的研究—その行動とイメージとの検討—早稲田心理学年報, 18, 27-36.
鈴木晶夫・春木豊 (1992) 軀幹と顔面の角度が意識性に及ぼす影響 心理学研究, 62, 6, 378-382.
鈴木晶夫 (1995) 能面の表情認知における陰影の効果 人間科学研究,8,61-73.
鈴木晶夫 (1996) 感情尺度としての文字顔に関する試験的研究 人間科学研究,9,163-170.
鈴木晶夫 (1996) 姿勢の研究:身体各部位の自己評価、うつ傾向、健康感、自尊感情との関係
健康心理学研究,9, 1-8.
鈴木晶夫 (1999) 健康・からだに関する調査 -東洋医学的視点を考慮して-人間科学研究,12,45-56.
鈴木晶夫 (2000) 共有使用の許容度から見た人間関係 人間科学研究,13,1-11.
鈴木晶夫 (2002) 青年期における同世代行動に対する許容度 ヒューマンサイエンス, 15,1, 46-53.
鈴木晶夫 (2004) 姿勢がからだの意識性に及ぼす影響について ヒューマンサイエンス,16, 27-34.
伊東暁子・竹内美香・鈴木晶夫 (2007) 幼少期の食事経験が青年期の食習慣および親子関係に及ぼす影響
健康心理学研究,20, 21-31.
伊東暁子・竹内美香・鈴木晶夫 (2007) 食事を介した自己および両親に対する評価形成—幼児の弁当に焦点
をあてて— 行動科学, 46,49-58.
M.Takeuchi, H. Miyaoka, A.Tomoda, M.Suzuki, X.Lu, T.Kitamura (2010) Validity and reliability
of the Japanese version of the Temperament and Character Inventory: A study of university
and college students. Comprehensive Psychiatry 52 (1), 109-117
横尾暁子・鈴木晶夫 (2011) 男子高校生の食生活の実態と願望および健康行動の関連 日本食生活学会誌,
22, 138-147.
A. I. Yokoo, M.Takeuchi, L.Yue & M.Suzuki (2017) Differences between Japanese and Chinese
university students in subjective well-being:Research on self-esteem and consciousness as
to control over health. Bulletin of DEN-EN CHOFU UNIVERSITY. 12,81-96.
横尾暁子・竹内美香・鈴木晶夫 (2018) 青年期女子のダイエット経験と食意識の関連 田園調布学園大学紀
要,13,149-159. その他